



# 群馬ゾンタクラブ T テーブル T トーク



いろいろな事のリアルを知ること。  
こんなことがあるのかと、直接感じる。  
それが群馬ゾンタクラブのテーブルトーク、**GTT**です。

次回は2021年1月30日10:30~11:45  
オンラインZOOMで開催予定



国際ゾンタは奉仕と支援を通して全世界の女性の地位向上のために活動する世界的な社会奉仕団体です。  
世界67ヶ国に1,200以上のクラブがあり、約30,000人の会員で運営されています。  
ゾンタクラブの会員は、世界的な友好を通して理解・親善・平和の促進のために共に助け合い  
女性の平等の権利、政治的な均等、教育と健康の享受、女性と子供に対する暴力の根絶など  
国際ゾンタが提唱するプロジェクトを支援するために活動します。  
世界32地区エリアの中、日本は26地区に属し、全国に50クラブ、約1,000名の会員が活躍しています。

## 群馬ゾンタクラブのテーブルトーク **GTT** バックナンバーご紹介

### GTT Vol.1 「障害者が語るリカバリーストーリー」 2019年12月7日(土)

プレゼンター:三森 様・松村 様

特定非営利法人 エイチ・ツー・オー「ワークプラザ 虹」でピアサポーターとして活動をしているお二人。  
※ピアサポーター:障害のある人自身が、自らの体験に基づき他の障害のある人の相談相手となり、問題の解決等を支援し寄り添う活動をする方

#### 卓話内容

お二人のこれまでの経験やどのような状態であったかなど、病気に関してのことをお話しいただいた。  
その後ピアサポーターについての説明、ピアサポーターとしての活動についてのお話をご自身の体験を交えながら語っていただいた。  
最後に参加者お一人お一人から質問や感想を伺い、意見の交換を行った。

#### 知ってほしいこと

心の病気は特別なものではなく、誰もがかかる病気であること。  
心の病についてもっと知ってもらい、偏見や差別のない社会になってほしい。

#### 参加者感想

- ・精神障害は特別なことではなく、いつ、だれがなってもおかしくない病気であることが分かった。
- ・ピアサポーターというお仕事について知ることが出来た。
- ・今後もこのような機会に参加したいと思う。



## GTT Vol.2「施設の現状と今後の課題」 2020年8月22日(土)

プレゼンター:木村智彦様

児童養護施設 鐘の鳴る丘 施設長(通称 園長)

### 卓話内容

鐘の鳴る丘少年の家の沿革のお話に始まり、施設の紹介、昔と今についてお話していただいた。開設当時は純養護(親に代わって子供を育てる)施設であったが平成10年ごろからは虐待児救済としての役割が多くなった。平成20年以降少子化もあり、国の方針で以前のような大人数を収容する施設からより家庭の環境に近いグループホーム施設への移行が取りまとめられ、施設養護・グループホーム・里親養護へと形を変えている。しかし実際は養護を必要とする子供の数は減らず、また施設職員の確保もままならず、現場は大変である。現在グループホームだけでは対応できないところを里親制度を活用し、地域で子供を育てるという方向に進めているが、なかなか目標には達していない。

### 知ってほしいこと

虐待により感情を表さず発達に障害が起きることがわかってきた。早めの治療やケアでこのような発達障害は改善され良くなることも報告されている。施設養護から家庭養護が優先され里親制度にも力を入れている。里親制度は「養育里親」「専門里親」「養子縁組里親」「親族里親」「短期預かり里親」といくつか種類がある。特別な資格はならず、研修と実習を受けることで里親になれることを知ってほしい。

### 参加者感想

- ・短期の預かり里親制度があることを初めて知り、里親について少し知りたくなった。
- ・育児放棄など子供のケアも必要だが父母のケアも大切であることが分かった。
- ・短期の里親預かりで子供はとても成長し、精神が安定することが分かった。



黄色いばらは  
ZONTAの  
シンボルです

## GTT Vol.3「虐待の陰にDVあり」 2020年10月31日(土)

オンライン  
ZOOMで開催!

プレゼンター:茂木直子様

認定特定非営利活動法人 ひこばえ 代表

### 卓話内容

ご自身がひこばえを立ち上げた経緯や実際にあった症例を挙げながら虐待やDV被害についての現状をお話いただいた。その中で単なる喧嘩と教育(しつけ)、DVの違いや、面前での虐待やDVが子供に与える影響等も話題に上った。また、現在ひこばえが行っている活動(シェルター提供、DV相談、加害者更生プログラム、小学生を対象とした無料学習会)についてのお話も伺った。

### 知ってほしいこと

「ひこばえ」という団体があるという事を多くの人に知ってほしい。DV被害の相談先があることを知って、命の危険にさらされる前に相談してほしい。周りにサポートを必要としている人がいたら暴力は絶対ダメ、あなたは悪くないと受け入れてあげてほしい。そして相談段窓口連絡してほしい。活動は常に資金難である。

### 参加者感想

- ・DVには周期があるから無くならないという事がわかった。
- ・身の危険を感じた逃げてきた人たちは自分がDVを受けていたという意識がないことに驚いた。
- ・加害者更生プログラムをスタートする前に4回の面接を経てから更生プログラムをスタートするという事を知ることが出来てよかった。(それだけ最後まで更生プログラムを続けられない人が多いという事がわかった)